

もっと未来の人のために



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年度上期の業績は、売上高が塩化ビニル関連製品の海外市況が下落したこと等により1,637億円(前年同期比1%減)となりましたが、営業利益は191億円(同37%増)で中間期の過去最高益を記録しました。これは、半導体関連製品であるICケミカル事業や放熱材事業の販売数量の増加や多結晶シリコンの操業度の改善が見られ、かつ全般的に製造コストの改善が進んだことなどが寄与したものです。なお、親会社株主に帰属する中間純利益は、121億円(同4%増)となりました。

2025年10月1日に、JSR株式会社から体外診断用医薬品事業および体外診断用医薬品材料事業(IVD/IVDM事業)を買収し、株式会社トクヤマライフサイエンスの下に、株式会社医学生物学研究所(MBL)および株式会社MBLマテリアルズなどを当社グループに迎えました。化学のトクヤマと診断薬のMBLの共創により、最先端の診断技術の開発を進め、健康分野の体外診断領域を強化・拡大してまいります。

2025年度通期の業績予想は、上期の進捗およびIVD/IVDM事業の連結化を考慮してセグメント別内訳の見直しを行いました。過去最高となる売上高3,645億円、営業利益415億円の期初予想は据え置いています。株主の皆様への中間配当については、予定どおり前年同期比10円増配の60円で実施いたします。期末配当も同様に60円を計画し、年間で前期比20円増配の120円を予定しております。

今年度末に迎える「中期経営計画2025」の総仕上げにむけて、事業ポートフォリオ転換など重点課題に挑戦し続け、価値創造型企業として持続的な成長を実現してまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

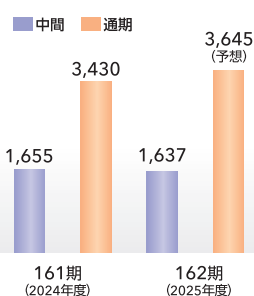


2025年12月

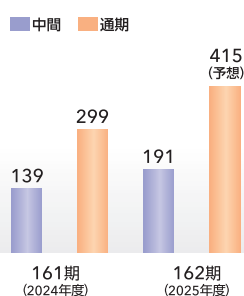
株式会社トクヤマ
代表取締役
社長執行役員

横田 浩

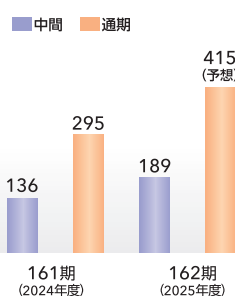
売上高 (億円)



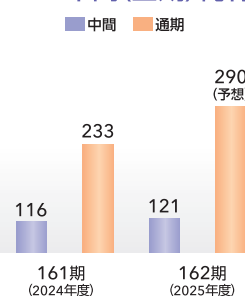
営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益 (億円)





化成品

売上高 **523億47百万円** (前年同期比**8.6%減**)

売上高・営業利益の推移

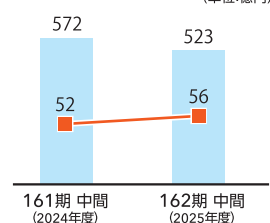
(単位:億円)



苛性ソーダは、輸出数量が減少したこと等により、減益となりました。
塩化ビニルモノマーおよび塩化ビニル樹脂は、海外市況が下落した一方、塩化ビニル樹脂の国内の販売価格改定や製造コストの減少等により、収益が改善しました。

ソーダ灰は、販売数量は前年同期並みだったものの、物流費の増加等により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は523億47百万円(前年同期比8.6%減)、営業利益は56億24百万円(前年同期比6.8%増)で減収増益となりました。



セメント

売上高 **324億22百万円** (前年同期比**0.5%増**)

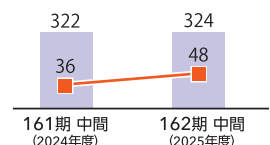
売上高・営業利益の推移

(単位:億円)



セメントは、国内出荷が前年同期比で減少したものの、国内の販売価格改定を進めたこと、および製造コストの改善等により、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は324億22百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は48億35百万円(前年同期比31.2%増)で増収増益となりました。

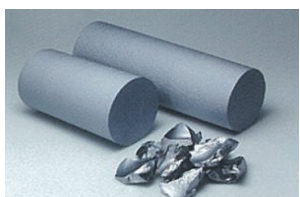


電子先端材料

売上高 **425億86百万円** (前年同期比**7.1%増**)

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)



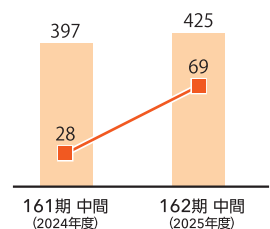
半導体向け多結晶シリコンは、操業度の改善や、棚卸資産評価損の戻入を計上したこと等により、増益となりました。

ICケミカルは、電子工業用高純度イソプロピルアルコールの販売数量が増加したこと等により、収益が改善しました。

乾式シリカは、輸出数量が減少したこと等により、減益となりました。

放熱材は、半導体製造装置向けを中心に販売数量が増加したこと等により、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は425億86百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は69億72百万円(前年同期比140.5%増)で増収増益となりました。



ライフサイエンス

売上高 **192億86百万円** (前年同期比**3.6%減**)

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

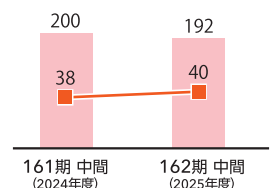


歯科器材は、海外向けの出荷が堅調だったものの、拡販に向けた販売費の増加等により、前年同期並みの業績となりました。

医療診断システムは、製品ミックスの変動および製造コストの増加等により、減益となりました。

プラスチックレンズ関連材料は、棚卸資産評価損の戻入を計上したこと等により、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は192億86百万円(前年同期比3.6%減)、営業利益は40億16百万円(前年同期比3.7%増)で減収増益となりました。



環境事業

売上高 **26億81百万円** (前年同期比**37.8%増**)

売上高・営業利益の推移

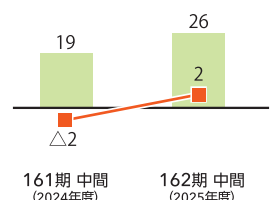
(単位:億円)



イオン交換膜は、膜および装置の出荷が増加したこと等により、増益となりました。

廃石膏ボードリサイクルは、廃石膏ボード収集が堅調に推移し、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は26億81百万円(前年同期比37.8%増)、営業利益は2億56百万円(前年同期は営業損失2億20百万円)となりました。





連結貸借対照表

(百万円)

科 目	前連結 会計年度 2025年3月31日	当中間 連結会計期間 2025年9月30日
資産の部		
流動資産	234,630	283,190
固定資産	241,577	253,509
資産合計	476,207	536,699
負債の部		
流動負債	91,338	103,116
固定負債	111,011	147,881
負債合計	202,349	250,997
純資産の部		
株主資本	246,302	254,835
その他包括利益累計額	15,259	16,552
非支配株主持分	12,295	14,313
純資産合計	273,858	285,701
負債純資産合計	476,207	536,699

連結損益計算書

(百万円)

科 目	前中間 連結会計期間 自2024年4月1日 至2024年9月30日	当中間 連結会計期間 自2025年4月1日 至2025年9月30日
売上高	165,538	163,756
売上原価	113,172	104,378
売上総利益	52,366	59,377
販売費及び一般管理費	38,407	40,225
営業利益	13,958	19,152
営業外収益	2,722	3,213
営業外費用	3,075	3,422
経常利益	13,606	18,944
特別利益	3,615	707
特別損失	419	1,837
税金等調整前中間純利益	16,802	17,814
法人税等	5,397	5,683
中間純利益	11,404	12,131
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△236	△14
親会社株主に帰属する中間純利益	11,641	12,145

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	前中間連結会計期間 自2024年4月1日至2024年9月30日	当中間連結会計期間 自2025年4月1日至2025年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,370	22,378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,177	△18,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,477	47,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	△796	327
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,873	52,148
現金及び現金同等物の期首残高	47,905	74,926
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	247
現金及び現金同等物の中間期末残高	64,779	127,322

TOPICS

2025.7.8

OCI Tokuyama Semiconductor Materials Sdn. Bhd.設立

半導体需要の拡大を見据え、マレーシア・サラワク州に韓国OCIグループと合併で半導体用多結晶シリコン半製品の製造販売会社を2025年7月8日に設立しました。現地に地鎮祭を7月16日に開催しました。



2025.10.1

体外診断用医薬品事業および
体外診断用医薬品材料事業の買収完了

2025年10月1日、体外診断用医薬品事業および体外診断用医薬品材料事業の買収手続きを完了しました。体外診断事業の開発体制の融合により、開発パイプラインを加速・拡充し、先端技術への進出を目指します。





会社概要

商号	株式会社トクヤマ(英文表記:Tokuyama Corporation)
創立	1918年2月16日
本社	〒745-8648 山口県周南市御影町1-1 TEL 0834-34-2000
資本金	100億円
ホームページ	https://www.tokuyama.co.jp/

役員体制

取締役	代表取締役	横田 浩	化成品、電子先端材料、監査、秘書 担当
		岩崎 史哲	ライフサイエンス、研究開発、鹿島工場 環境安全 担当
	取締役	井上 智弘	経営企画、サステナビリティ、環境事業、徳山製造所、カーボンニュートラル戦略、ニュービジネス、先進技術事業化センター、デジタル統括 担当
		谷口 隆英	セメント、総務人事、購買・物流 担当
	取締役監査等委員	宮本 陽司	監査等委員長
		末岡 和正	監査等委員
		水本 伸子	社外取締役
		石塚 啓	社外取締役
		近藤 直生	社外取締役
		斉藤 史郎	社外取締役
		梶原 ゆみ子	社外取締役
執行役員	社長執行役員	横田 浩	
	専務執行役員	岩崎 史哲	研究開発本部長 兼 ライフサイエンス部門長
	常務執行役員	谷口 隆英	セメント部門長
		西原 浩孝	株式会社トクヤマデンタル 代表取締役
		井上 智弘	経営企画本部長
		奥野 康	徳山製造所長
		長瀬 克己	電子先端材料統括本部長 兼 先端材料部門長
		佐藤 卓志	総務人事部門長
		伊藤 剛史	ニュービジネス本部長 兼 経営企画本部 副本部長
		寺西 誠治	電子先端材料統括本部 副本部長 兼 電子材料部門長
	執行役員	藤本 浩	購買・物流部門長
		田村 直樹	環境事業部門長
		関 道子	サステナビリティ統括本部長
		坂 健司	デジタル統括本部長 兼 DX推進グループリーダー
		井上 裕司	カーボンニュートラル戦略本部長
		内田 悦史	エンジニアリングセンター所長
		安村 光昭	化成品部門長 兼 化成品営業統括室長 兼 化成品営業部長

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL(https://www.tokuyama.co.jp/)
定時株主総会	6月	上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	証券コード	4043
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 [郵便物送付先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 [電話照会先] 0120-232-711(通話料無料)		

「株主総会資料」書面をご希望の場合は、お手続きが必要です。

株主総会資料の電子提供制度が開始されたことに伴い、2026年の当社株主総会資料を書面でお受け取りをご希望される場合は、2026年3月31日までにお取引のある証券会社又は上記株主名簿管理人を通じて、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただく必要がございます。

株式会社トクヤマ

<https://www.tokuyama.co.jp/>

〒745-8648 山口県周南市御影町1-1

お問い合わせ等がございましたら、下記の番号にご連絡ください。

TEL 0834-34-2000 (総務グループダイヤルイン)